新発田市 平成 30 年度 第 4 回定例記者会見

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 3 日 (火) 午前 11 時 ~
- 2 場 所 歴史図書館 2 階会議室
- 3 内 容

歴史図書館開館

「10 代の居場所カフェ」オープン

新発田商業高校商業クラブ企画旅行「ばっかいいねか in 米倉」

市島酒造株式会社「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」金メダル受賞

「内の倉ダム バーチャル体験カード スタンプラリー」

「にいがたダムスタンプラリー2018」

「義士祭 安兵衛決定戦」

「水道創設 90 周年記念イベント」

マンホールカード配布開始

「日韓親善スポーツ交流大会」

○婚活支援事業「恋♥カレッジ」「レトロモダンを愉しむ♥^{たの}納涼和膳^{すずみわぜん}とノンカクテル in いちしま」

「サマーフェスティバル 2018」

「しばた軽トラ市」

「天王まつり」

体験型謎解きイベント「美女と野獣を探せ！」

イクネスしばた「おやこキッチン」

「合唱のつどい」

「うたびと・ジョイントコンサート」

「山形交響楽団 新発田公演」

新発田青少年育成市民会議「市民大会」・「わたしの主張 新発田市大会」

「新発田市美術展覧会」作品募集

新発田日本語教室「サマースクール」

あいさつ

やっと夏らしい暑さになりました。空梅雨で雨が降らなかったですが、こういう天気は一番怖いと思っています。7.17 や 8.28 もそうですが、どこかの時期に雨が多く降ったり、台風も来たりしていますので心配しています。

稲にとっては、涼しい気候でしたので、この暑さで挽回していければと思っています。

サッカー日本代表のポーランド戦での戦い方について、賛否両論あるようです。あれを見たときに、戊辰戦争における新発田藩と同じだと感じました。スポーツマンシップと武士道という中で、あの決断をしたわけです。

どうしても決勝トーナメントに進みたいという西野監督の決断、そして、そのために、すかさず必要な情報収集をしたという采配は、市のリーダーとして非常に参考になりました。

戊辰戦争における新発田藩家老の溝口半兵衛もそうです。当時の藩の行為は「裏切り」と今でも言われています。汚名を一身に背負ってでも、民を戦火から守るという強いリーダーシップがあったと思います。それに対して、半兵衛が言い訳や弁解、記録に残していることは一切ない。すべて一身に背負ったということであります。

西野監督もあの行為に対して、後で言い訳や弁解、注釈を付けるということはない、責を自分の肩に背負ったうえでの決断をしました。素晴らしい決断であり、リーダーとして学ぶべきものがあると思います。

大阪北部地震で子どもの命が失われたということから、国の指示を待つことなく、市内一斉にブロック塀の点検するよう指示しました。

ほとんどの幼稚園、保育園、小・中学校で、基準をクリアできました。ただし、中学校2校で塀の高さが1.2メートル以内という基準にふれるものがありました。

塀の高さ以外に鉄筋が入っているかなど、色々な基準があっても、厳しい見方で判断し、対応するよう指示しました。早めの対応によって、老朽化した部分も含めて全部検討に入っています。

いずれにしても、一刻も早く被災地の復興を願うとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、歴史図書館の開館について。

今日は、定例記者会見の会場を歴史図書館に変更し、記者の皆さんに来ていただきました。ぜひ、大きく取り上げてもらいたいという願いからであります。

中央図書館のイクネスしばたへの移転に伴い、平成 28 年から旧市立図書館の建物を改修して整備を進めてきた歴史図書館が、いよいよ 7 月 7 日（土）にオープンします。

新発田は、初代新発田藩主・溝口秀勝侯みぞくちひでかつこう にゅうほうの入封以来、廃藩置県までの約 270 年間、一貫して溝口氏の城下町であったことや、戦火を免れたことまぬがなどから、多くの古文書が現存しています。

長岡藩は戊辰戦争や第 2 次世界大戦の空襲がありました。長岡藩の調査をするときには、新発田の図書館資料を参考にすると聞いたことがあります。その位、古文書、歴史書が現存しているということです。

これらの歴史資料や郷土資料を閲覧できるほか、絵図や古文書を定期的に展示替えしながら公開する展示室、内部の温度・湿度が管理できる特別収蔵庫などを整備しました。

オープン当日には記念式典と、新発田の最初の図書館の寄贈者である坪川つほかわかん澗平べい氏の銅像の除幕式があるほか、9 月 24 日（月）まで、開館記念特別展として、「新発田藩歴史資料展」を開催します。

- 併せて、7 月 15 日（日）には、生涯学習センターで、新潟大学人文学部の原直史なおふみ教授を講師に迎え、「新発田藩の記録と歴史」と題して、記念講演会を開催します。

また、夏休み期間中には、「御朱印帳ごしゅいんちょう」や「陣立図屏風じんだてずびょうぶ」を作る体験イベントを行うなど、今後は、先人が遺してくれた新発田の宝を、未来へと継承していく子どもたちに、新発田の歴史に触れる機会を数多く提供したいと考えています。

- 歴史関係の図書や古文書に特化した図書館は、全国的にも珍しいと聞いています。この歴史図書館が、市民の皆様の新たな学びの場、交流の場となることを期待しています。

次に、「10代の居場所カフェ」について。

7月22日(日)、「イクネスしばた」に、「10代の居場所カフェ」がオープンします。

「10代の居場所カフェ」は、中学生・高校生を中心とする10代の若者が、学校帰りなどに気軽に立ち寄り、コーヒーやお茶を飲みながら雑談したり、一人でくつろいだりするなど、カフェにいるような感覚で、リラックスして過ごせる空間です。

相談員が常駐し、学校や家庭では言えない若者の悩みに個別に対応する、言わば「まちの保健室」として、くつろいだ雰囲気の中で相談に応じる体制を整えたいと考えています。

他市町村にも、公民館の一室などで、若者が集まれる場所はあるようですが、相談員が常駐している居場所づくりは県内初です。

本年度、本市では「教育の充実」をまちづくりの重点として掲げています。子どもたちの心の^{あんない}安寧なくして、「教育の充実」はあり得ません。「学力の向上」も、子どもたちの心が健やかであることが大前提です。

この「10代の居場所カフェ」によって、一人でも多くの若者が心穏やかに日々の生活を送ることができる手助けとしたいと考えています。

続いて10代の若者の話題です。

新発田商業高校の生徒が企画・立案・実施する体験型ツアーについて。

7月21日(土)に、小学5・6年生とその保護者を対象に、米倉地区で体験ツアーが行われます。

○これは、新発田商業高校商業クラブの3年生の女子生徒5人が中心となって、新発田の良いところを多くの人に知ってもらい、体験してもらいたいとの思いから企画・提案したものです。旅行業の資格がある新発田市観光協会が協力し、旅行商品として販売します。

○当日は、高校生自らが案内役となるほか、地元の皆さんと協力し、そば打ち

体験や竹鉄砲づくりなど、米倉地区ならではの様々な体験を行うこととしており、参加した子どもたちにとって、新発田の良さを新発見する機会になると思います。

○商業クラブは、これまでもコンビニや菓子店とのコラボ商品の開発など、優れた取組によって、全国大会出場などの実績を残していますが、旅行商品の企画は初めての試みと聞いています。

○また、この取組は、今年度から当市が進めている、市内の高校生・大学生約5,000人のマンパワーを活かして、地域課題解決に向けたアイデアや実践方法の提案を募集する「まちづくりドラフト会議」のプレイベントとも言えるもので、今後の展開を大いに期待しています。

次に、地元酒造会社の国際コンクールでの表彰について。

市島酒造株式会社の日本酒「夢 ^{やまはいじゅんまい}山麩純米」が、「インターナショナル・ワイン・チャレンジ 2018」の「純米酒の部」で、金メダルを受賞しました。

「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」は、英国のウイリアム・リード社が主催する、世界最大規模の品評会と聞いています。

今回、「純米酒の部」に出品された337銘柄のうち、金メダルを受賞したのは12銘柄で、新潟県からは唯一、市島酒造が選ばれています。

残念ながら、世界大会出場枠である「トロフィー」の受賞は逃しましたが、新発田の日本酒の品質が、国際的な水準として認められたものであり、たいへん誇らしく思っています。

こうした国際的な評価を受けた商品や、全国レベルの表彰を受けた市の物産を紹介するとともに、新発田ブランド認証商品のPRのため、ヨリネスしばた1階に、新たに展示ケースを設置したところです。

次に、ダムを巡る県のスタンプラリーを2つ紹介します。

1つ目は、11月15日(木)まで実施している「内の倉ダム バーチャル体験

カード スタンプラリー」です。

これは、内の倉ダム、加治川治水ダム、胎内川ダムのいずれか 1 か所、または、新発田市・阿賀野市・胎内市・聖籠町の 16 の参加施設のうち 3 か所のスタンプを集めると、特別なカードがもらえるものです。

カードは 2,000 枚限定で、スマートフォンなどで QR コードを読み込むと、AR（拡張現実）や VR（仮想現実）の技術を使った、内の倉ダムの迫力ある映像が視聴できます。ぜひ、多くの方に参加していただきたいと思います。

2 つ目は、7 月 14 日（土）から 10 月 31 日（水）まで行われる「にいがたダムスタンプラリー2018」です。

内の倉ダムを含む新発田地域のダム 2 か所、三条地域のダム 3 か所、柏崎地域のダム 2 か所の計 7 か所を巡ると、それぞれの限定ダムカードとスタンプがもらえるほか、各地域のイベントグッズ配布所で記念品がもらえます。

そして、全 7 か所のスタンプを集めるとプレミアムダムカードがもらえます。

全国的にインフラツーリズムが注目されていますが、中でも、ダムの来訪者に配布されるダムカードは、たいへんな人気を博していると聞いています。

新発田・三条・柏崎地域にまたがる、広域でのダムスタンプラリーは、県内では初めてと聞いており、県外からの来訪者の宿泊につながるものと期待しています。

いずれのスタンプラリーも県の主催ですが、当市も連携して、交流人口の増加に向けた、新たな観光の資源として大いに役立てたいと考えています。

次に、札の辻広場でのユニークなイベントを紹介します。

7 月 7 日（土）、ヨリネスしばた「札の辻広場」で、堀部安兵衛を顕彰する団体「武庸会」が主催する「義士祭安兵衛決定戦」が開催されます。

これは、安兵衛を偲んで毎年 11 月の討ち入りの日に行われる「義士祭」のメインイベント「少年少女剣士市中パレード」の主役である安兵衛役を決める剣道の試合です。

- 防具の面の上に風船を付けて1対1で対戦し、先に相手の風船を割った方が勝ちというユニークな試合方式です。
- 当日は、日本剣道の^{かた}形の演舞や安兵衛太鼓の演奏のほか、一般参加もできる風船割りもあり、どなたでも楽しんでいただけるイベントです。
- 「決定戦」と銘打って、トーナメント戦を行うのは今回が初めてです。郷土の剣豪の役という名誉をかけて戦う子どもたちの頑張りを、ぜひ取材していただきたいと思います。

このほかの情報としては、「水道創設90周年記念イベント」として、講演会やパネルディスカッション、「水道まつり」を開催するほか、当市では初めてとなる「マンホールカード」の配布、毎年交互に訪問し、交流を深めている「日韓親善スポーツ交流大会」があります。

また、婚活支援事業として、「恋♥カレッジ」と「レトロモダンを楽しむ♥^{たの}納涼^{すずみ}和膳^{わぜん}とノンカクテル in いちしま」があるほか、まちなかのイベントとして、夏の夜の恒例行事「サマーフェスティバル2018」、おなじみの「しばた軽トラ市」、豊浦地区の伝統のお祭り「天王まつり」があります。

さらに、イクネスしばたでのイベントとして、「美女と野獣を探せ！」と「おやこキッチン」があるほか、市民文化会館のイベントとして、「合唱のつどい」、「うたびとジョイントコンサート」、「山形交響楽団 新発田公演」があります。

加えて、毎年恒例の「新発田青少年育成市民会議 市民大会」と「わたしの主張 新発田市大会」、「新発田市美術展覧会」の作品募集、新発田日本語教室による「サマースクール」があります。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。